

こんにちは！城西病院です



9月号 第039号
平成26年8月1日発行
名古屋市中村区北畑町
四丁目1番地
偕行会城西病院
副院長 岸川 博隆
TEL 052-485-3777

9月

9月は気温差があります。風邪にお気を付け下さい。



可能性があるならば少しでも口から食べる

偕行会城西病院
～言語聴覚士 小林 美野～

今回の広報紙は、当院がこの一年間で取り組んできた『可能性があるならば少しでも口から食べる』という取り組みをご紹介します。

現在、城西病院では、約115名（平均78歳）の入院があり、糖尿病・腎不全・脳梗塞後遺症などを合併し、何らかの理由で口から食べられなくなり、経管からの栄養方法を強いられている方もいます。

当院では、この約一年間に経管栄養だった約8名の方が、訓練によって経管栄養から口で食べられるようになり、中には、3食ともお口から食べられるようになった方、自宅に退院できた方もみられます。

当院は、医師・看護師・栄養士・言語聴覚士があらゆる角度から、少しでも口で食べられる可能性があるかどうかを検討し、その方々の症状にあった食べる訓練を行っています。

飲み込むというのは、実は水分が一番難しく、気道に入り込み、肺炎（誤嚥性肺炎）になりやすい為、食べる可能性があるのか、唾液の飲み込み機能から評価します。

全身状態を診た上で可能性がある方には、どの形態ならば、飲み込めるかを栄養士・調理師と意見交換し、ミキサーにかけた肉や魚をムース状に作成したり、刻んだものを飲み込みやすい様にソースにからめたり、お茶ゼリーなどを作成し、飲み込みやすい食材、調理法を実際に試作検討し、7段階に分けた形態設定の中から適する形態を選択し、『安全に食べる為の訓練』を下記の点に着目し、取り組んでいます。

- 食べ方の習慣づいた癖の有無
- 症状にあった食べやすい食事形態（調理法大きさ）
- 疲労感なく、必要な栄養が摂れる量の適量提供量の見定め
- 食前の準備体操や食事時の姿勢・スピード・一口量の調整、食後の過ごし方

取り組んだ例を挙げると、経管栄養になった方は、口腔内が乾燥してしまい唾液潤滑がなくなってしまいます。

ここで我々は、歯みがき指導から口腔内保清を促し、「林檎ジュースが飲めるようになりたい」との目標希望に沿い、まずは、唾液が飲み込めるように、棒付き飴を舐め唾液を飲み込む練習→ジュース

（例：林檎味）を凍らせ氷を舐め溶けた水分を飲み込む練習や、次にゼリー→プリン→お粥→軟飯とその時の嚥下（飲み込み）機能に合わせて段階を経ながら、安全かつ慎重に全身状態に留意しながら取り組んでいきます。

その間、リハビリ士からは、「ごくごく飲んではいけません、まだ、食べてもいけません！我慢です！」と言われるので、患者さんも欲求とリハビリ士からの制限との戦い・葛藤です。

しかし、数か月の訓練を通してのお付き合いから信頼関係を持つこともでき、その結果、辛抱と地道な練習や病院のケアにより飲み込む力が回復し、食べられるようになり、自宅に退院された方や外出時に外食を楽しんでいる方もいます。

このように『食べる』ということは簡単なようで難しく、細かなことから見直し取り組んでいくものです。食べ方の工夫、食材・調理の工夫、姿勢・食器の工夫の改善により、再び食べられる可能性もケースによってはあるのです。

《当院の食事（飲み込む訓練食）の一例》



【刻みとろみ食】



【お茶ゼリー】



【ペースト固形食】

市民公開講座 予定 <参加無料>

■ 9月11日（木） 15:00～

「あなたの腰、大丈夫ですか？」

腰痛のメカニズム、簡単な自主トレーニング方法について、当院で一緒に学びませんか？お待ちしております！！

■ 10月9日（木） 15:00～

「睡眠について」

「秋の夜長」と言われるこの季節…。こんなときは、睡眠について考えてみませんか？当院の漸井医師と一緒に考えましょう！

■ 11月13日（木） 15:00～

「インフルエンザと肺炎球菌について」

この季節、注意しなければならないインフルエンザと肺炎です。岸川先生が、わかりやすくお話ししますので、しっかり予防し元気に冬を迎えましょう！

※当院では1階ロビーにて毎月第4金曜日11時30分からピアノ演奏会を行っています。プロの演奏家が奏でる音色をお楽しみ下さい。※ 今月は8月22日（金）です。

命ある
限り歩くぞ
長寿国
猪井年秋

チヨット待て
うまい話に
悪の影
猪井年秋

湯けむりに
余生は弾む
旅の宿
猪井年秋

川柳広場

城西病院ではみなさまの川柳をお待ちしております。秀逸な作品はロビーにて掲示させていただきます。

医療法人偕行会 偕行会城西病院

〒453-0815 名古屋市中村区北畑町4-1
TEL 052-485-3777 FAX 052-485-3773

インターネットの情報もご覧ください
<http://www.kaikou.or.jp/jyousai>
お電話で診療のご予約ができます

診療予約センター 052-485-3737

祝日除く月-金曜 8:30～17:00



◆ 外来診療のご案内 ◆

午前 9:00-12:00 午後 14:00-16:00



8月1日より

外来診療		月	火	水	木	金
内科	午前	漸井・佐藤	勢納・矢野	勢納	漸井	勢納
総合診療	午前	—	—	岸川	岸川	岸川
整形外科	午前	高山	高山	高山	高山	高山
	午後	高山	高山	高山	高山	高山
眼科	午前	三井	三井	三井	三井	加藤
	午後	—	—	—	—	—



★診療予約センター

052-485-3737(8:30-17:00土日祝除く)

★窓口受付時間

午前11:30まで

午後15:30まで

救急外来診療に関するお知らせ

城西病院の救急は、名古屋共立病院で24時間お受けしておりますので、ご安心ください。

《 **名古屋共立病院** ☎052-362-5151 》

診察券番号が共通ですので、名古屋共立病院に一度もかかったことのない場合も安心して診療を受けることができます。

H26年7月、偕行会城西病院 地域住民懇談会が開催されました。



H26年7月5日城西病院会議室にて地域住民懇談会が開催されました。

高須賀東町内会、柳、日吉、千成の各学区のほか、「地域医療を考える会」から代表の方が参加されました。

冒頭、院長から赤字の現状と8月から「地域包括ケア病棟」を申請し、より地域密着型の医療を展開していくこと、経営改善の見通しなどについて説明させていただきました。その後、皆様から寄せられたご要望を中心に懇談させていただきました。

最後に院長から3施設完成の暁には「地域住民説明会」は使命を終えたと考えられる。以降この「地域住民懇談会」に一本化したい旨提案があり、一同の賛同が得られました。

..... (以下、懇談内容抜粋)

・時間外緊急時の診察をしてほしい。

当院では救急車の受け入れはできませんが、時間外診療は可能なかぎり対応します。

患者番号を名古屋共立病院と統一しています。城西の電子カルテも共立から

閲覧可能なので、緊急時には名古屋共立病院で対応させていただきます。

・診療科目を増やしてほしい。

他院にないものを検討しています。将来的な課題とさせていただきます。

・平成26年度後期高齢者健康検診の指定医療機関になっていないが？

マンパワーが不足しているため健診を制限しています。将来的な課題とさせていただきます。

・いま在宅訪問診療への期待が広がっています。

当院は、在宅療養支援病院で、24時間365日の訪問診療／往診を行っています。

ご希望の方は外来受診時、または総合相談窓口で承ります。

・病院の施設を老人会サロン会で借りているが、各区政協力委員会・町内会などの会議にも使用したい。また、バス旅行の集合・バス発着場所に院内内の広場を利用したい。

可能な範囲で協力させていただきます。基本的には地域からの御要望には前向きに対応させていただきますので、まずは御相談下さい。

バスについては、原則、診療に影響の出ない時間帯でお願いします。いずれも案件毎に相談にのらせていただきます。

..... (以上)

